

第1回 東大本番レベル模試（06年6月）英語採点基準

全体的な目安としては、問われた内容にほぼ正しく答えているかどうかを大まかに判断することとし、細かいミス（たとえば文末の句点やピリオドの欠落）は減点しない方針を採る。

たとえば英作文においては、細かなミスの有無よりも、全体として言いたいことが明確に伝わるものとなっているかどうかを優先して得点を与えていく。

ただし、細かいミスに関して個別に減点の指示があるときは、そちらを優先する。

なお、解答欄をはみ出して書いたもの（例：欄の外に後から1文字追加したもの）は0点とする。

配点表

大問		小問数	配点	小計	大問ごと
1	A	1	12	12	20
	B	4	2	8	
2	A	1	12	12	24
	B	1	12	12	
3	A	5	2	10	30
	B(1,3,4)	3	2	6	
	B(2,5) dictation	2	2	4	
	C	5	2	10	
4	A	5	2	10	22
	B(1)	1	4	4	
	B(2)	1	4	4	
	B(3)	1	4	4	
5	1,3,4,5,7,9,11	7	2	14	24
	(2)整序	1	2	2	
	(6)10字	1	2	2	
	(8)20字	1	3	3	
	(10)和訳	1	3	3	
合計				120	120